

末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）に関連するカテーテル関連血流感染（CRBSI）についての検討

1. 研究の対象

2019年1月1日から2021年4月30日に当院で末梢挿入型中心静脈カテーテル（以下PICC）留置を受けられた方

2. 研究目的・方法

末梢挿入型中心静脈カテーテル（以下 PICC）留置に関連するカテーテル関連血流感染（以下 CRBSI）について検討する。

当院で PICC を留置した症例を対象として、CRBSI の発生有無を調べ、独立因子を抽出する。

- 1) 主要評価項目／CRBSI
- 2) 副次的評価項目／背景因子、処置関連情報のCRBSIへの影響

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、術前服用薬情報
- 2) 血液検査（WBC、Lymph、TP、ALB、TG、T-cho）
- 3) 処置関連情報：留置部位、カテーテル先端位置、カテーテルの種類、固定方法、処置目的

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 小児外科 谷口彰宏

-----以上